

みんなの温泉天国 (北海道編)

佐々木 清人 著

北海道は全国一の温泉天国である。

北海道の温泉と観光の持続的な発展を目指して!!



目次

- 1、北海道の温泉地の現状
- 2、勝手に温泉国宝
- 3、勝手に温泉道宝(北海道)
- 4、勝手に温泉市宝・温泉町宝・温泉村宝
- 5、番外の温泉遺産
- 6、共同浴場・日帰り温泉
- 7、野湯・海湯
- 8、北海道の温泉
 - 1)温泉地の推移
 - 2)道の駅の温泉
 - 3)大型リゾートの温泉
 - 4)1軒宿の温泉旅館と温泉ホテル
 - 5)共同浴場・日帰り温泉施設
 - 6)廃業した1軒宿の温泉旅館と温泉ホテル
 - 7)北海道の奥座敷

あとがき
参考資料

平成30年(2019年)調査

北海道内温泉地数 …………… **245ヶ所**
宿泊延人数 …………… **13,148,021人**

北海道の温泉地の現状

〔平成30年度温泉利用状況〕より

北海道の現状

- ①源泉総数(2,173本・全国4位)
- ②総湧出量(198,022ℓ/min・全国2位)
- ③高温温泉数(1,132ヶ所・全国3位)
- ④温泉地数(246ヶ所・全国1位)
- ⑤温泉宿数(708軒・全国4位)
- ⑥宿泊延人員(13,148,021人・全国1位)

第1位の都道府県

- ①大分県(4,445本)
- ②大分県(279,253ℓ/min)
- ③大分県(3,349ヶ所)
- ④北海道(246ヶ所)
- ⑤静岡県(1,870軒)
- ⑥北海道(13,148,021人)

温泉地の規模

令和元年(2019年)前後の統計
※年間宿泊客数は平成27年(2015年)統計

温泉地名			
開湯年代	宿泊施設の推移	年間観光客数	年間宿泊客数
ウトロ温泉			
昭和46年(1971年)	30年前20軒⇒12軒	約120万人	約46万人
層雲峡温泉			
大正12年(1923年)	30年前13軒⇒8軒	約182万人	約72万人
川湯温泉			
明治37年(1904年)	30年前15軒⇒10軒	約73万人	約22万人
阿寒湖温泉			
明治45年(1912年)	30年前23軒⇒13軒	約152万人	約60万人
定山溪温泉			
明治3年(1870年)	30年前40軒⇒20軒	約160万人	約126万人
十勝川温泉			
大正2年(1913年)	30年前22軒⇒15軒	約58万人	約43万人
洞爺湖温泉			
大正6年(1917年)	30年前30軒⇒20軒	約300万人	約105万人
登別温泉			
安政5年(1858年)	30年前30軒⇒20軒	約328万人	約128万人
湯の川温泉			
享徳2年(1453年)	30年前40軒⇒21軒	約225万人	約144万人

貴店番線	発行:藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546		
月	<h1>みんなの温泉天国</h1> <h2>(北海道編)</h2> <p>佐々木 清人 著</p> <p>定価1,650円(税込) ISBN 978-4-86538-152-8 C0026 ¥1500E</p>		
日			
冊	2023年3月31日 第1刷発行	発行所 藤田印刷エクセレントブックス	判型 B5変形判(158頁)
		印刷・製本 藤田印刷株式会社	

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで